教育委員会だより

「自立」と「共生」～自己肯定感～

令和４年９月２８日号　多治見市教育委員会　教育総務課

育み続けたい科学の芽

９月３日（土）と４日（日）に,笠原中央公民館において第 66 回多治見市科学作品展が行われました。近年、子ども達の理科離れが課題として取り上げられています。こうした状況の中ではありますが、小学校では３８３名の児童が、中学校では 29 名の生徒が夏休みに理科の自由研究を頑張りました。科学作品展には、小学校 135 点、中学校 20 点の作品が出品されました。そして、多治見市内の小中学校の先生方による審査の結果、金賞 30 点（小学校 24 点、中学校 6 点）、銀賞 50 点（小学校 45 点、中学校 5 点）が決まりました。3 日と 4 日には、大勢の家族連れに来場いただくことが出来ました。感想をいただいていますので、少し紹介します。

〇どの研究も「何でだろう？」という日常の疑問から始まっていてすごいと感心しました。興味の芽をつんでしまわないように、これからも子ども達の「何でだろう？」を大切にしたいです。

〇氷とこん虫の研究がたくさんあった。僕のもみんなに見てもらえてよかったです。

〇身近な疑問から研究テーマを決めていて、面白いなあと思いました。子ども達の発想の豊かさや根気よく研究することが素晴らしいと思いました。また、それを支える保護者の皆さんにも感心しました。

なお、東濃審査会で、９点（小学校５点、中学校４点）が県展への出品が決まりました。おめでとうございます。

土曜学習「多治見の陶磁器　上絵加工の技を学ぶ」

９月 17 日、とうしん学びの丘エールにおいて、多治見が誇りとする「上絵付」という伝統の技にふれる講座を、初めて実施することが出来ました。

小学生 40 名、中学生ボランティア 22 名が参加してくれました。多治見陶磁器上絵加工工業組合から、6 名の方を講師としてお招きしました。子ども達は、作品を鑑賞したり、貴重な職人技を直接見せていただいたりしながら楽しく学ぶことができました。そして、家から準備してきた自分の好きなデザインやイラストを使って、白いタイルに自分だけの絵付け作品を制作しました。子ども達は、講師の先生方のアドバイスを受けながら、夢中になって作品作りに取り組みました。上絵付けをしたタイルは、組合の方々に焼いていただくことができました。中学生ボランティアの子達も、体験することができ満足できたようです。今後も、組合の皆様と連携し本講座をさらに充実させていきたいと願っています。

小学校に文化財展示室を設置

【南姫小学校の展示室】

【脇之島小学校職員への説明会】

多治見市文化財センターには、多数の文化財が保管されており、いくつかは学校に貸し出しをしております。こうした文化財をより身近に感じて手軽に授業で活用してもらえるように計画的に展示室を整備することにしました。今年度は、脇之島小学校と南姫小学校に設置しました。子ども達が、文化財に直接触れながら、昔の人々の暮らしを興味をもって学ぶことができるように願っております。